

	経営学研究科(修士課程)
DP	<p>経営学研究科修士課程において2年以上在学し、修了に必要な所定の32単位以上を修得した上で修士論文の審査に合格し、次の素養や能力を身につけた学生に対して修士(経営学)の学位を授与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①経営学研究者となるのに必要な基礎的素養</li> <li>②企業の現場で発生する実践的課題を解決する能力</li> <li>③経営システムを設計・改善する能力</li> <li>④税理士・会計士等の高度職業会計人として必要とされる基礎的能力</li> </ul>
CP	<p>経営学研究科修士課程の教育課程は、次の諸点を重点に編成しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①専門性を体系的に深めるコース制(経営学・ものづくりシステムコース、会計学・ファイナンスコース)</li> <li>②学生の研究テーマに即した2年間の研究指導</li> <li>③第一線で活躍する企業人や実務家を講師に招いた実践的な教育</li> </ul>
AP	<p>本研究科修士課程で学ぶためには、本研究科修士課程の履修に必要とされる基本的な能力と次のような熱意や意欲を備えていることが望まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①すぐれた組織経営の原理の解明や実践の修得への情熱</li> <li>②生きた経営の中に課題を見出し、その課題の解決に挑戦する熱意</li> <li>③現実への高くて深い関心と旺盛な探究心をもち、自己実現の手段として起業などを志すフロンティア精神</li> <li>④会計に明るく、かつ、経営プロセスを重視できる会計人になりたいという意欲</li> </ul>

	経営学研究科(博士後期課程)
DP	<p>経営学研究科博士後期課程において3年以上在学し、専修科目について研究指導を受けて所定の博士論文の審査に合格し、経営学の特定の分野においてオリジナリティのある研究成果を生み出すことができる能力を身につけた学生に対して博士(経営学)の学位を授与します。</p>
CP	<p>経営学研究科博士後期課程の教育課程は、次の諸点を重点に編成しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①3年間の研究指導と学位論文作成指導を通して、経営学の分野において独創性を有し、かつ論理的思考に基づく研究成果を生み出すことができる能力の向上</li> <li>②3年間に学会・研究会での研究発表や1編以上の査読付き論文の作成を指導し、研究成果を論理的に整理し発表できる能力の向上</li> <li>③上記研究能力の向上を目的として、経営学、会計学、経営財務論の各分野における講義科目による、高度な専門的知識と幅広い学識の修得の組織的な支援</li> </ul>
AP	<p>本研究科博士後期課程で学ぶためには、大学院修士課程を修めた上で次のような熱意や意欲を身につけていることが望まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①すぐれた組織経営の原理を解明し、経営学研究の発展に貢献しようとする熱意</li> <li>②現実への高くて深い関心と旺盛な探究心をもち、企業・経営の未解決の課題の解決に取り組む意欲</li> <li>③経営学の分野の未解決の課題に取り組み、新たな理論的地平を切り開こうとする意欲</li> </ul>